

Press Release

令和2年3月25日公表

発表事項	<p style="text-align: center;">平成30年住宅・土地統計調査 住宅の構造等に関する集計について（本県分）</p> <p style="text-align: center;">（平成30年10月1日調査）</p>
概要	<p>◆高齢者の住む住宅の一定のバリアフリー化率は40.8%で、平成25年と比べ3.2ポイント上昇◆</p> <p>65歳以上の世帯員のいる主世帯（高齢者のいる世帯）のうち、一定のバリアフリー化住宅に居住している世帯は84,500世帯で、一定のバリアフリー化率が40.8%（全国平均42.4%）となった。また、高度のバリアフリー化住宅に居住している世帯は14,700世帯で、高度のバリアフリー化率は7.1%（全国平均8.8%）となった。平成25年と比べると、一定のバリアフリー化率は3.2ポイント（全国平均1.2ポイント）、高度のバリアフリー化率は1.1ポイント（全国平均0.3ポイント）それぞれ上昇した。</p> <p><small>（注）一定のバリアフリー化住宅とは、人が居住する住宅について、高齢者等のための設備・構造のうち、2箇所以上の「手すりの設置」又は「段差のない屋内」がある住宅をいい、高度のバリアフリー化住宅とは、2箇所以上の「手すりの設置」、「段差のない屋内」及び「廊下などが車いすで通行可能な幅」がいずれもある住宅をいう。</small></p> <p>◆平成26年以降に増改築・改修工事が行われた持ち家のうち、台所・トイレ・浴室・洗面所の改修工事の割合が15.0%と最も高い◆</p> <p>平成26年以降に住宅の増改築・改修工事等が行われた持ち家は82,700戸で、持ち家全体に占める割合は27.4%（全国平均27.5%）となった。増改築・改修工事等の内容の割合（「その他の工事」を除く。）をみると、「台所・トイレ・浴室・洗面所の改修工事」が15.0%と最も高くなった。</p> <p>◆平成26年以降に耐震診断が行われた持ち家は6.0%、うち耐震性が確保されていた持ち家は94.0%◆</p> <p>平成26年以降に住宅の耐震診断が行われた持ち家は18,200戸で、持ち家全体に占める割合は6.0%（全国平均9.1%）となった。また、耐震診断が行われた持ち家のうち、耐震性が確保されていた持ち家は17,100戸で、耐震診断が行われた持ち家に占める割合は94.0%（全国平均88.3%）となった。</p> <p>◆高齢者のいる世帯のうち、最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離が500m未満は31.6%で、平成25年と比べ4.2ポイント上昇◆</p> <p>高齢者のいる世帯について、最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離別にみると、「500m未満」が65,500世帯（高齢者のいる世帯に占める割合31.6%）（全国平均43.6%）となった。平成25年と比べると、「500m未満」の割合が4.2ポイント（全国平均5.0ポイント）上昇した。</p>
主管課	総合政策部 統計調査課 生活統計担当 工藤、田中 内線（2267） 直通26-7043

